

事務事業評価表（令和5年度の実績評価）

事務事業名										事業区分		担当	
霞ヶ浦用水農業推進協議会運営費負担金										新規/継続	継続	事務事業No.	040102000836
政策体系上の位置付け										単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名		0401	農林業の振興							農林課		
	政策名		04	活力ある産業のまちづくり							課長名		
	施策名		01	農林業の振興							グループ		
	手段名		02	②農業の効率化推進							担当者名		
財務会計上の位置付け										事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				単年度繰返し	(平成17年度～)	
	01	06	01	05	05	00	霞ヶ浦用水事業				⇒	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	土地改良法												

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 【事務事業の内容】 - 霞ヶ浦用水農業推進協議会運営事業によって、市内の受益地区の霞ヶ浦用水事業を推進する負担金 【担当が行う業務の手順】 - 市内の受益地区に負担金の処理。 - 推進活動が遂行しているか確認する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 - 支部補助金交付申請事務 - 支部補助金実績報告事務 - 推進活動の遂行状況確認や指導

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
- 支部補助金交付申請事務 - 支部補助金実績報告事務 - 推進活動の遂行状況確認や指導	推進活動件数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
霞ヶ浦用水事業受益者	市内組合員数	人	5,162.00	5,198.00	5,198.00	5,198.00	5,198.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
事業の適正かつ効率的な運営を確保し、農家の利益増進を図る。	負担金	千円	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
	推進活動員数	人	198.00	198.00	198.00	198.00	198.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	900	900	900		
			一般財源	千円	0	0	0		
			事業費計（A）	千円	900	900	900		
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)				06年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	900			18 負担金補助及び交付金	900		
			合 計	900			合 計	900

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	- 支部補助金交付申請事務 - 支部補助金実績報告事務 - 推進活動の遂行状況確認や指導	- 支部補助金交付申請事務 - 支部補助金実績報告事務 - 推進活動の遂行状況確認や指導	- 支部補助金交付申請事務 - 支部補助金実績報告事務 - 推進活動の遂行状況確認や指導

事務事業名	霞ヶ浦用水農業推進協議会運営費負担金	事務事業No.	40102000836	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成2年事業を開始され受益者に安定した用水を供給している、また受益地に対し推進を図っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 農地の安全や農業経営の安定化が図られる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 霞ヶ浦用水は、公共性が高く、国・茨城県の事業としても実施されている。
有 効 性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 霞ヶ浦用水事業の継続
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 土地改良関係の各種事業を効果的に実施する事が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性ありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 霞ヶ浦用水事業関係の各種事業を効果的に実施することが困難になる。
効 率 性	
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 受益者負担の適正が図られる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 事務事業の円滑な推進を図る。																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上 維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上 維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上 維持		○																	
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ☒ ⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄	